

学校通信 2月号

平成29年2月1日(水)



尼崎市立上坂部小学校
尼崎市東塚口町1-15-36
TEL:6427-3830 Fax:6427-3831

鬼は内 … 心の中の鬼と向き合う

校長 増田 吉英

寒さが一段と増してまいりました。皆様方にはご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。1月18日の1日参観では多くの保護者の皆様にご参観いただきありがとうございます。これからも開かれた学校として頑張っていきたいと考えております。さて、尼崎市内では、インフルエンザの感染が広がっています。学校では日々の健康観察・手洗い・うがいの励行を指導しています。ご家庭でも「早寝・早起き・朝ご飯」等、規則正しい生活を心がけ、手洗い・うがいを徹底していただくようご協力よろしく申し上げます。

上坂部小学校の「節分」

節分とは元来「季節の分かれる日」の意味で、立春、立夏、立秋、立冬の前日を指したものです。しかし、今は一般的に立春の前日で、春は年のはじまりを意味します。そして、季節の変わり目には邪気が生じるという考えから、鬼払いなどの儀式が行われるのが一般的になりました。(出典:朝日新聞「キーワード」2013-02-03 東京西部1地方版朝刊)

上坂部小学校では、2月3日「節分」の日に、富松神社の赤鬼青鬼(茨木童子)が「ウォー」という大きな声とともに体育館にやって来ます。

富松神社は約1250年前に僧の行基が人々を指導して猪名野笹原を開拓し、稲作を進めるとともに、富松の里の守り神として神仏と仏様をお祭りをしたのが始まりと伝えられています。この伝統ある富松神社の行事の中で、2月3日は節分祭りといって、午前中は、地域の小学校に出かけていき、子ども達の成長を祈願します。そして夜は豆まきの後、地域にくり出し、商店や家々に福が来ますようにとねり歩きます。

迫力満点の鬼の登場に、子ども達は驚きます。なかには「キャー」と逃げ回る子もいれば、勇敢に立ち向かう子もいます。最初は恐々だった子たちも次第に慣れてきて、紙を丸めて豆代わりにして鬼にぶつけます。「富松の鬼」さんいわく、「鬼は外、福は内」のかけ声の意味は、「悪い鬼をやっつけるのではなく、自分の心の中にある悪いところを外に出してしまうこと」だそうです。ですから、単にぶつけることを楽しむのではなく、自分の弱いところ、直したいところを願いながら投げたいものです。

この行事は1年生に限って実施されるものですが、お家で豆まきをされる際も、「思っただけでなかなか改善できない自分」に向き合って反省し、「これから頑張るぞ!」という気持ちで豆まきするといいですね。きっと、お子さまの今後の成長につながることでしょ。

人はいくつになっても課題があり、反省する点もあります。そして、「その課題を解決し、よりよくなろうとする」のが、人としての成長です。ですから、子どもたちだけでなく、私たち大人も日々自分の生活や生き方を見直し、さらに成長していったものです。節分は、自分を見つめ直すよい機会です。一度、ご家庭でも色々お話されてはいかがでしょうか。



茨木童子 出典Wikipedia

年間生活目標 ☆すすんで あいさつしよう ☆くつを そろえよう ☆ろうかは しずかにあるこう

学期別生活目標 3 学期 外で元気に遊ぼう

2 月の行事予定

月	火	水	木	金	土
		1	2 観劇 6 年	3 富松の鬼 諸費振替日 地区バスケット ボール大会	4
6 朝 会 委員会活動	7	8	9	10 入学説明会	11 建国記念の日
13 児童集会(体育) クラブ活動 (最終)	14 参観・懇談 1～3年・あすなろ	15 参観・懇談 4・5年	16 学級の日	17 参観・懇談 6年 社会見学 5年	18
20 大縄大会	21	22	23 児童会役員選挙	24 	25 
27 委員会活動 (最終)	28				
<p>《3月の主な行事予定》 2日(木)6年生を送る会 6日(月)交通感謝の会 8日(水)校外児童会 9日(木)きょうだい学級交流会 17日(金)給食終了 22日(水)卒業式 24日(金)修了式</p>					

お知らせとお願い

●参観・懇談

14日(火)から参観と懇談があります。今年度最後の参観になります。1年間の子どもの成長の様子をご覧ください。また、懇談にも参加いただきますようよろしくお願いいたします。詳しい日程につきましては、後日プリントにてお知らせいたします。

●インフルエンザにご注意

インフルエンザによる欠席が増えてきています。手洗い・うがいの励行や十分な睡眠・栄養の確保をお願いします。さらに屋外・屋内や暖房の有無など、寒暖に見合った服装を心がけたいものです。また、インフルエンザで学校をお休みする場合は、A型かB型かもお知らせ下さい。

●児童会役員選挙

29年度の新児童会役員を決める選挙の活動が、1月19日の選挙管理委員会を皮切りに行われています。立候補者の子ども達には、高学年として学校をよりよくしていくための自覚と責任を培う絶好の機会です。また、次年度に向けリーダーとして活躍してくれる子ども達を、みんなで責任を持って選出する場でもあります。立候補者はもとより、応援演説や選挙管理、投票、役員引き継ぎ等を通して、多くの子ども達が活動に関わります。さらに朝の選挙運動では立候補者や応援者が校門に立って懸命に訴えることで、全児童に活動の周知を図ります。投票権のある高学年に限らず、みんなが関心を寄せることで、より実りある選挙になることでしょう。このように、児童会役員選挙は子ども達の主体的な活動として、脈々と引き継がれています。

